

## FUKUSHIMA 市民 インタビュー

最高の友と最高の舞台へ！

県立福島商業高等学校野球部マネージャー

渡邊 真央(3年)さんに聞きました！

🍷 入部のきっかけは？

中学まではバスケット部でしたが、もともと野球が好きだったこと、強豪福商野球部で頑張っている人を応援したいという思いから入部を決めました。先輩が引退した1年生の秋から新入部員が入るまでの半年間は一人で仕事をしていました。仕事量も多く大変でしたが、同級生の部員達がサ



福島商業高校野球部3年生部員の皆さん

ポートしてくれてここまで続けてきました。

🍷 マネージャーの仕事は？

部員の出欠管理や飲み物の用意、部室・用具の清掃や洗濯試合での打率や防御率の集計など多岐にわたります。また大会では関係者へのお茶出しなどもあり、目配り気配りが大切な仕事です。今は、下級生含め5人のマネージャーで分担して仕事をしています。土日も含め練習や試合で、ほかの友達と遊びに行く時間も少なく、少し寂しく思うこともありますが、何より野球仲間が好きなので辞めたいと思っただけではないですね。

🍷 やりがいは？

選手たちに喜んでもらえる時です。用意した飲み物を「ありがと」と飲んでくれたり、頑張った打率ノートを喜んでくれたりするときは、とてもうれしくなります。



▲選手たちを見つめる渡邊さん

🍷 将来の夢は？

進学して野球部のマネージャーを続けたい気持ちもありますが、今はウエディングプランナーに憧れています。人の幸せと一緒に喜んだり、サポートする仕事という点ではマネージャーに通じるかもしれませぬ。

🍷 今年のチーム紹介と意気込みを

一人一人が実力のあるよいチームで「今年こそ甲子園」と意気込んでいます。今の3年生は入部当初から「俺たちなら行ける」と言い続け、一人も欠けることなく続けてきたまとまりのあるチームです。これから始まる最後の夏の選手権では、これまでの練習の全てを出し切って必ず甲子園に行きたいです。偉大な古関裕而先輩作曲の福商校歌を全国に響き渡らせられるようにチーム一丸で頑張ります！



We Love ♥ ふくしま！

### 第17回『東北絆まつり』

6月1・2日、東北絆まつりが開催され、彩り豊かな東北6つの祭りに福島は熱く盛り上がりました。

来場いただいた皆さま、出演・出店された皆さま、協賛いただいた皆さま、現場を支えたスタッフ・ボランティアの皆さまに心から御礼申し上げます。交通規制などにより、近隣の住民・事業者の皆さまをはじめ、市民の皆さまにはご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げ、ご協力に厚く感謝申し上げます。

今回の祭りのテーマは、「心をひとつに、いまを超えろ。『祭りの力』が新たな東北のレガシー(遺産)を創る！」。

東北の絆はさらに強くなりました。ご来場の30万8千人の皆さまには、東北・福島の復興に立ち向かう今の姿と、文化・食などの多彩な魅力を体感いただき、東北・福島に心を寄せていただきました。これを糧に、復興・創生を加速します。

50回目を機に大幅リニューアルした福島わらじまつりは、今回が初披露。福島市出身の**大友良英さん**(NHK「いだてん」「あまちゃん」の音楽担当)の総合プロデュースにより、古関裕而さん作曲の原曲を生かすつつ太鼓や笛の鳴り物を取り入れ、踊りや衣装も一新。躍動的な演技に沿道が沸き上がりました。

8月の本祭りでは、平成わらじまつりに名残を惜しみつつ、新わらじまつりを楽しみましょう。新わらじおどりのノリの良さにすぐに馴染めない方もいると思いますが、市民が誇る祭りへとみんな育てていきたいものです。

今回の絆まつりは、新しい社会の理念となる国際的な多文化共生や障がい者も生き生きと暮らせる地域共生の要素も多分に織り込みました。国際色に触れ、障がい者への理解を深めていただきました。

祭りは地域の活力になると同時に、未来社会へのエネルギーです。東北絆まつりを機に、福島の新ステージに向け、さらに邁進します。

福島市長 **木幡 浩**

⑦



臨時災害  
ラジオ放送

万一災害が発生した場合、市では、FMポコ(76.2MHz)を「臨時災害ラジオ放送局」として、避難所やライフラインなどに関する緊急情報をお知らせします。●問/危機管理室 ☎525-3793